

平成16年3月期 第3四半期業績の概況(連結)

平成16年2月13日

上場会社名 株式会社日本システムディベロップメント (コード番号:9759 東証・大証第1部)
 (URL <http://www.nsd.co.jp/>)
 問合せ先 取締役社長 小岸 勲
 I R 室長 山本 健二 (TEL:(03)3342-2981)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高等の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有

2. 平成16年3月期第3四半期業績の概況(平成15年4月1日～平成15年12月31日)

(1) 連結売上高等 (記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | |
|-----------------|--------|-----|-------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 16年3月期第3四半期 | 23,324 | 3.4 | 1,559 | 38.2 | 1,574 | 39.4 |
| (参考)15年3月期第3四半期 | 22,548 | - | 2,525 | - | 2,596 | - |
| (参考)15年3月期 | 36,705 | - | 4,891 | - | 4,935 | - |

(注) 売上高、営業利益、経常利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率

[売上高等に関する補足説明]

平成16年3月期第3四半期につきましては、情報化投資が大きく回復しない中、熾烈な企業間競争が継続し厳しい状況で推移いたしました。このような状況において当企業集団では、顧客第一主義のもと、提案力の強化を図り、顧客ニーズの掘り起こしと事業基盤の拡大を推進してまいりました。

また、新規事業の拡大を図るために海外の有力企業とのアライアンスを進め、ソリューション・パッケージソフトの品揃えを着実に増やしております。しかしながら、不採算案件の発生で上期に停滞した営業活動の影響もあり、ソフトウェアプロダクト部門、人材派遣部門の業績は計画通り推移しているものの、情報サービス部門では終了見込みであった一部ソフトウェア開発案件に追加費用が発生したこともあり、売上高、利益ともに計画を下回って推移しております。

前年同期に比べて営業利益が減少しているのは、主に情報サービス部門の不採算案件によることと、前年同期には設立されていなかった連結子会社である日本アイデントラス(株)の創業時の赤字によるものです。

(当社の四半期業績の特性)

当社グループの売上高につきましては、顧客の検収が年度の節目である9月及び3月に集中するため、売上高に占める4月から6月及び、10月から12月の各3か月間累計の比重は低くなる傾向があります。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-----------|--------|-------|-------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 前回発表(A) | 36,300 | 3,870 | 1,810 |
| 今回修正予想(B) | 35,800 | 3,550 | 2,720 |
| 増減額(B-A) | 500 | 320 | 910 |
| 増減率(%) | 1.4 | 8.3 | 50.3 |

[業績予想に関する定性的情報]

平成16年3月期第4四半期につきましては、顧客からの提案要請、見積り依頼が徐々に数を増す等、受注環境に明るい兆しが見え始めております。しかし、実際の受注回復に繋がるにはもう少し時間を要すると思われ、ソフトウェアプロダクト部門、人材派遣部門では計画通り業績が推移するものの、営業活動停滞の影響が残る主力の情報サービス部門では、一部低採算の案件もあり、計画を達成するのは難しい状況です。

各部門の営業活動を更に強化すると共に一般管理費の削減を徹底するなど最大限の努力をしておりますが、売上高並びに経常利益につきましては、計画を達成するのが難しいと判断されますので、中間決算時(平成15年11月17日)に発表いたしました連結業績予想の金額を上記の通り下方修正いたします。

なお、厚生年金基金の過去部分の代行返上が認可される見込みとなったことに伴い、当期に特別利益が約23億円計上される見込みとなりましたので、当期純利益につきましては上記の通り上方修正いたします。

但し、業績予想につきましては、現時点で合理的と判断される一定の条件に基づき作成しており、実際の業績は予想と異なる場合があります。

以上

(添付資料)

[参考1]

部門別売上高(連結)

(単位:百万円、%)

| | 当第3四半期 自平成15年4月1日 至平成15年12月31日 | | (参考)前第3四半期 自平成14年4月1日 至平成14年12月31日 | | 増減 | |
|-------------|--------------------------------------|-------|------------------------------------------|-------|-----|------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 前期比 |
| 情報サービス | 20,917 | 89.7 | 20,497 | 90.9 | 420 | 2.0 |
| ソフトウェアプロダクト | 1,627 | 7.0 | 1,465 | 6.5 | 162 | 11.1 |
| 人材派遣 | 778 | 3.3 | 585 | 2.6 | 193 | 33.1 |
| 合計 | 23,324 | 100.0 | 22,548 | 100.0 | 776 | 3.4 |

[参考2]

平成16年3月期第3四半期 個別業績の概況(平成15年4月1日～平成15年12月31日)

(1)売上高等

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | |
|-----------------|--------|-----|-------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 16年3月期第3四半期 | 20,088 | 0.8 | 2,009 | 24.3 | 2,039 | 26.1 |
| (参考)15年3月期第3四半期 | 19,934 | - | 2,656 | - | 2,758 | - |
| (参考)15年3月期 | 32,567 | - | 5,035 | - | 5,106 | - |

(注) 売上高、営業利益、経常利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率

(2)平成16年3月期の業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-----------|--------|-------|-------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 前回発表(A) | 31,000 | 4,170 | 2,150 |
| 今回修正予想(B) | 30,700 | 4,000 | 3,110 |
| 増減額(B-A) | 300 | 170 | 960 |
| 増減率(%) | 1.0 | 4.1 | 44.7 |

業績予想につきましては、現時点で合理的と判断される一定の条件に基づき作成しており、実際の業績は予想と異なる場合があります。

(3)部門別売上高

(単位:百万円、%)

| | 当第3四半期 自平成15年4月1日 至平成15年12月31日 | | (参考)前第3四半期 自平成14年4月1日 至平成14年12月31日 | | 増減 | |
|-------------|--------------------------------------|-------|------------------------------------------|-------|-----|-----|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 前期比 |
| ソフトウェア開発 | 16,826 | 83.8 | 16,603 | 83.3 | 223 | 1.3 |
| コンピュータ室運営管理 | 2,023 | 10.1 | 2,108 | 10.6 | 85 | 4.0 |
| ソフトウェアプロダクト | 1,238 | 6.1 | 1,223 | 6.1 | 15 | 1.2 |
| 合計 | 20,088 | 100.0 | 19,934 | 100.0 | 153 | 0.8 |